

8. 結婚式の引出物

(友人の結婚式に参加した帰り道で)

ミレ としこのドレス姿、きれいだったね～。

ゆい うん、ドレスもきれいだったけど、着物もすてきだった。

まなみ そうね～。私はご両親への手紙を読むとき、もらい泣きしちゃった。

ミレ まなみって涙もろいよね。すぐ泣くんだから。それはそうと、このプレゼントは何？ 逆に私たちがもらっていいの。

ゆい あ～これは引出物って言って、参加してくれた人にお礼の意味で プレゼントを渡すの。

まなみ そうそう。あ、カタログギフトの本が入ってる。最近はこちらが多いよね。本の中から好きなのを自分で選べるからいいよね。

ミレ ねえねえ、ちょっと腹黒い話だけど、今までもらった引出物の中で 微妙だったのある？

ゆい 二人の名前入りの食器をもらったことがあった。

ミレ うわ～それは困る！でも引出物を選ぶ方(ほう)も 大変そうね。

まなみ そうそう。引出物の中身もそうだけど、結婚式の準備が大変で、けんかしちゃうカップルも多いらしいよ。

ミレ ひゃ～。私はさっさと韓国でしておいてよかった～。

引出物 (ひきでもの) (결혼식, 축하연 등의)답례품

もらい泣き (もらいなき) 다른사람이 우는데 따라서 울

もろい 여리다, 약하다, 무르다 (예)涙もろい 눈물을 잘 흘리다

それはそうと 그건 그렇다 치고, 그런데[화제를 돌릴 때 사용함] 「ときに」, 「ところで」, 「話は変わって」

腹黒い (はらぐろい) 엉큼하다, 속이 검다, 「わるがしこい(悪賢い)」, 「ずるがしこい」, 「こざかしい」

腹が立つ 화가 나다

腹を立てる 화를 내다

腹が大きい 도량이 크다

腹を割(わ)る 본심을 털어놓다

腹を決める 마음을 정하다

腹を抱(かか)える 배꼽을 움켜쥐다

微妙だ (びみょうだ) 미묘하다

食器 (しょつき) 식기

中身 (なかみ) 내용물, 알맹이

さっさと (동작이) 재빠름, (서둘러하는 모양을 나타내어) 후딱후딱, 빨랑빨랑, 척척
 あげる 주다, 나(or 내 가족) → 제3자, 제3자 → 제3자
 くれる 주다, 제3자 → 나(or 내 가족)
 もらう 받다. 받는 사람이 주어가 되는 문장의 술어가 되며 인칭의 제약이 없다.
 かえりそうだ 돌아갈 것 같다, 동사ます형 + そうだ
 わすれそうだ 잊어버릴 것 같다
 いそがしそうだ 바쁜 것 같다, イナ형용사 어간 + そうだ
 べんりそうだ 편리할 것 같다, 편리해 보인다
 よさそうだ 좋을 것 같다
 なさそうだ 없을 것 같다

9. 日本の就活

(ミレが事務所で先輩の中山と話す)

中山 ねえねえ、さっきロビーでリクルートスーツの学生たちを見かけたんだけど、今日うちの会社で面接あるの？

ミレ あ、そうでしたね。なんだか自分の時のこと思い出しませんか。

中山 ん~私は15年前のことだから、遠い昔の話であんまり覚えてないわ。ミレさんはどうだったの。

ミレ 私は初めて日本で就職活動したとき、まず就活生たちの服装が不思議でした。みんな同じ黒いスーツに黒い髪ですよ。日本って個性を大事にする国だと思ってたのに、就活ではけっこう固いですよね。

中山 そうね、新卒の学生たちはみんな同じ格好してるもんね。

ミレ はい。夏でも男性は長袖のジャケットを着る、女性もストッキングを履くという決まりは理解できませんでした

中山 そうね、夏にストッキングって海外では理解できないよね。私たちは正式な場で素足は失礼だからね。もっと自由にしたいわ~。

ミレ ですよ。ま、とにかく今日の面接でいい人が入ってきたらいいですね。

就活 (しゅうかつ) 취직활동의 준말

リクルートスーツ 취직활동용 정장

見かける (みかける) 눈에 띄다, (언뜻)보다

思い出す (おもいだす) 생각나다, 생각해 내다

就職活動 (しゅうしょくかつどう) 취직활동
 服装 (ふくそう) 복장
 不思議だ (ふしぎだ) 이상함, 희한함, 불가사의
 大事にする (だいじ) 아끼다. 소중히 생각하다(=大切にする). 중요하게 생각하다
 個性 (こせい) 개성
 新卒 (しんそつ) 해당연도 졸업(자)
 格好 (かっこう) 모습, 모양, 꼴
 長袖 (ながそで) 긴소매, 소매가 긴 옷
 ジャケット (양복의)상의, (레코드, 책 등의)커버

ストッキング

履く (はく) (양말, 신발 등을)신다
 正式 (せいしき) 정식
 素足 (すあし) (양말을 신지 않은, 피부가 보이는) 맨발
 裸足 (はだし) (신발을 신지 않은) 맨발
 自由 (じゆう) 자유

なんだか 웬지, 왜 그런지, 이유는 확실히 모르겠으나, 「どういうわけか」, 「なぜか」, 「なんか」(회화체)

なんとなく 무심결에, { なんだか(x, 동작 동사와 사용x) / なんとなく(○) } 窓の外を見ると、雨が降り始めていた。

結構 (けっこう) 1. 그런대로 제법, 꽤, 상당히, けっこうおもしろい. 꽤 재미있다. 結構いいものをもっている. 상당히 좋은 물건을 가지고 있다. 2. 부족함이 없이, 더할 나위 없음, 훌륭함. 結構な景色 훌륭한 경치, 結構なご家庭ですね. 부족함이 없는 가정이군요. 3. 만족함, 그걸로 충분함. 時間はいつでもけっこうです. 시간은 언제나 괜찮습니다. 連絡はメールでけっこうです. 연락은 메일로 충분합니다. 4. (정중하게 사양하는뜻으로) 괜찮음, 이제 됐음 もうけっこうです. 괜찮습니다./이제 충분합니다

たら ~(하)면(조건). 値段が高かったら、一回読んだら、雨が降ったら、午後になったら、この仕事が終わったら、休みたい。家に帰ったら、必ず電話してください。会議が終わったら、食事をしに行きましょう。

10. コンビニで

(ミレ가近所のコンビニで知り合いに会う)

店員 いらっしゃいませ。

田中 あれ? ミレさんじゃないですか。

ミレ わっやだ~! 田中さん! まさかこんなところで会うなんて。 すっぴんで失礼します。

田中 いやいや、全然気づかなかったですよ。 お住まい、この近くなんですか。
 ミレ はい、最近この近所に引っ越してきたんですよ。 田中さんもご近所さんだったんですね。
 田中 そうなんです。あ、それ！季節限定スイーツですよ。 ぼくもそれねらってきたんですよ。
 ミレ あ、田中さんもコンビニスイーツ通ですか。意外ですね。
 田中 はい、限定ものに弱くて、新商品が出るとつい買っちゃうんです。 ミレさんはそれ、夕飯
 ですか。
 ミレ あ、はい。恥ずかしいんですが、最近コンビニで済ませちゃうことが多くて、家族にはい
 つも悪いと思っています。
 田中 わかります、ぼくも、一人暮らしなんで、料理しないでコンビニ 弁当ばかりです。
 ミレ そうなりますよね。それに、コンビニって用がなくてもつい足を 運んでしまいますよね。
 田中 ぼくは雑誌の立ち読みで、すっかり常連客ですよ。 これからはコンビニでご近所付き合い
 できますね。
 ミレ そうですね。でも次からはちゃんと化粧してこなくちゃ。あはは。

近所 (きんじょ) 근처, 이웃

まさか 설마

すっぴん 화장을 하지 않음, 또는 그 얼굴

お住まい (おすまい) 사시는 곳, 댁

季節限定 (きせつげんてい) 계절 한정

スイーツ (sweets)간식이나 디저트로 먹는 단맛이 나는 먹거리. 특히 양과자류를 지칭하
 며과일은 포함되지 않는다

新商品 (しんしょうひん) 신상품

つい 무심코, 그만, 甘いものを見るとつい食べて しまうんです。

一人暮らし (ひとりぐらし) 독신생활, 혼자 생활함

運ぶ (はこぶ) 나르다, 옮기다, 운반하다

常連客 (じょうれんきゃく) (홍행장, 음식점등의)단골손님 [‘常連’이라고도함] cf. おとくい
 さん

付き合い (つきあい) 교제, 사귀

化粧する (けしょうする) 화장하다

なんて 1) ~이라니, ~하다니, まさかこんなところで会うなんて!、そんなことで怒るなんて 子
 供みたい。あの人先生だなんて うそだろう。2) ~따위, ~같은것(회화체표현) =など 人生な
 んて そんなものだ! 昔のことなんて、すっかり忘れました。人生に奇跡なんて存在しない。

ご近所さん 집에서 걸어서 2~3분 정도에 사는 사람

お隣さん 자신의 집 오른쪽, 왼쪽 집에 사는 사람

お向いさん 건너편 집에 사는 사람

隣近所 ご近所さんと お隣さんを 합쳐

～通 (つう) ～통. (명사에 접속하여)그 방면에 정통함. 外交通 ワイン通 ラーメン通 肉通 映画通

すっかり 완전히 모두 다 =まったく, 完全(かんぜん)に ;'완전히 어떤 상태가 됨', '남김없이, 죄다' 등의 의미를 나타냄. 町の風景がすっかり 変わってしまった。風邪はすっかり 治りました。

ばかり 私は暇さえあれば、服ばかり見てしまうんです。

11. 直島プロジェクト

(ミレと会社の後輩の晴美が直島に取材にきた)

ミレ これが有名な赤かぼちゃか。

晴美 草間彌生(くさまやよい)の作品ですよ。彼女は「太陽の真っ赤な光が直島の海の中でこの赤かぼちゃに なってしまった」と説明したそうです。

ミレ 晴美ちゃん、よく知ってるね。

晴美 この日のためにちゃんと調べました。

ミレ さすが晴美ちゃん、頼りになる～！

晴美 えへへ。じゃ、さっそく行きましょうか。

(地中美術館の前で)

晴美 この美術館は安藤忠雄(あんどうただお)が設計したんですよ。名前のとおり、地中に埋まっているんです。

ミレ へえ～、めずらしいね。じゃ、中は真っ暗になってるの。

晴美 自然光が入るように設計されていて、24時間、また四季によって作品の表情が変わるんです。

ミレ 一日中ここに座って、ただぼうっと見ていたいな。

晴美 だめですよ、先輩！ 今日はこの後リー・ウーファン美術館にも行くんですから。急ぎましょう。

ミレ え～ハードすぎる！ 晴美ちゃん、もっとのんびり行かない？

晴美 先輩、今回は取材で来ましたから！ さ、重い腰をあげて、最後に直島銭湯のアイラブ湯に行くという ごほうびもありますから。

ミレ え！ 銭湯！？ 晴美ちゃん、早く行くわよ！ ほら、早く！

取材 (しゅざい) 취재

ちゃんと 꼼꼼히, 틀림없이, 착실하게 ちゃんと 準備しよう。ちゃんと 窓を閉めてください。

頼りになる (たよりになる) 의지가되다

さっそく 즉시, 당장 すぐに。すぐさま さっそく ですが、仕事の話にしましょう。さっそく 作ってみた。

設計する (せつけいする) 설계하다

埋まる (うまる) 묻히다, 파묻히다, 가득차다

作品 (さくひん) 작품

表情 (ひょうじょう) 표정

座る (すわる) 앉다

ぼうっと 멍하게, 희미하게 ぼうっと して大事なことを忘れた。今日は一日中、ぼうっと している。

重い腰をあげる (おもいこしをあげる) '腰をあげる'(일어서다)+ '重い'. '腰が重い'는 '좀처럼 행동하려고 하지 않는다', '重い腰をあげる'는 '내키지 않지만 억지로 일어서다'

ごほうび (ご褒美) 포상, 칭찬의 의미로 주는 금품이나 상

真 참, 진짜, '바른', '완전, 정확'의 의미를 부여하거나 강조

真上 (まうえ) 바로 위

真新しい (まあたらしい) 완전 새롭다

真ただ中 (まただなか) 한창~(할)때

真ん中 (まんなか) 한복판

真心 (まごころ) 진심

真四角 (ましかく) 정사각

真っ青 (まっさお) 새파란

真ん丸い (まんまるい) 완전 둥글다

ために ~을/를 위하여. 1. 목적: 息子を留学させるために大金を使った. 선행절. 후행절 주어가 같다, ~때문에. 2. 원인 息子が留学するために大金を使った. 선행절의 주어와 후행절의 주어가 다르다.

~になる ~이/가 되다 おなかがいっぱいになりました。会議は10時からになりました。酒を飲んで顔が赤くなりました。

のんびり 유유히, 한가로이 느긋이 そろそろ引退して、田舎でのんびり と過ごしたい。彼はのんびり した性格だから、何事も急がない。

12. 山登り

(キムと山本がカフェで趣味について話をする)

山本 キムさんの趣味は何ですか。
 キム 私はトレッキングです。
 山本 トレッキング? あ~山登りですか。日本の山も登ったことがありますか。
 キム はい。今まで、富士山に3回登りました。
 山本 3回もですか。それは大変だったでしょう。富士山に登るなんて、想像しただけで気が遠くなりますよ。空気が薄くて苦しくなる人もいるのに、キムさんは大したものですよ。
 キム 頂上近くに山小屋があって、そこでカレーを食べたりしながら しっかり休んだので、大丈夫でしたよ。
 山本 山の上で食べるカレーは、最高でしょうね。
 キム そうですね。まあ、それよりも夜の登山は格別でしたよ。まわりは全て星空が広がっているので、まるで自分も星になって 空に浮かんでいるような気持ちになるんです。
 山本 わあ~それはすてきですね。あ、じゃあご来光も見たんですか。
 キム もちろんですよ。9合目の山小屋から見たんですが、言葉にならない感動でした。
 山本 ご来光を見たら、いい事がたくさんあるそうですね。

トレッキング (trekking) 트레킹.
 想像する (そうぞうする) 상상하다
 気が遠くなる (きがとおくなる) 정신이 아찔해지다, 정신 을 잃다
 空気 (くうき) 공기
 苦しい (くるしい) 답답하다, 고통스럽다, 괴롭다
 大した (たいした) 대단한, 굉장한 たいへんな, 非常な, 大した(「それほどの」)ことはない。뒤에 부정표현 오면 별거 아니다라는 뜻으로.
 頂上 (ちようじよう) 정상
 山小屋 (やまごや) 산장, 산막
 星空 (ほしぞら) 별이 총총한 밤하늘
 まるで 마치, 흡사, 꼭
 ご来光 (ごらいこう) 높은산에서 보는 장엄한 해돋이
 ~合目 (ごうめ) ~부 능선
 感動 (かんどう) 감동

も: ~이나(数量名詞+) 雨はもう3日も降っている。
 (まるで)~ようだ (마치) ~인 것 같다, ~와/과 같다. 1. 비유. 「まるで」, 「ちようど」와 같이 彼女の心は氷のように冷たい。男は狂ったように走り続けた。2. 추측. お腹がすいたようですね。先生はお酒が好きなようです。

~でしょう ~이지요. 「だろう」의 정중한 표현. 1. 추측(상승조) あしたはいい天気でしょう。2. 확인 このお菓子、おいしいでしょう? 3. 추측(하강조) 相手がメールを見たか確認できる機能が

あるでしょう。4. 「~でしょうか」 의문. 걱정 田中さんもラーメンが好きでしょうか。
~について ~에 대하여, ~에 관해서 ~関(かん)して
しっかり 확실히, 꼭, 단단히, 똑똑히

13. 浮世絵

(ミレと夫のキムが居間で話している)

キム 日本のお札ってさ、数字が漢数字より小さくて見にくいんだよね。
ミレ そう言われてみたら、漢字ができない人はパッと見た感じでは わかりにくいね。でも、20
24年から新しいお札に変わるのよ。
キム え、そうなんだ。
ミレ (携帯で写真を見せながら)ほら、これ見て。今より数字が大きい でしょう。
キム 本当だ。こっちの方が俺たち外国人には見やすいよね。あ、これ俺の 好きな浮世絵(うき
よえ)だ。葛飾北斎(かつしかほくさい)の 富岳(ふがく)三十六景の一つだね。
ミレ そうよ、浮世絵っていえばこれ！ っていうくらい有名な神奈川冲浪裏(おき なみうら)！ 千円札
に使われたんだよね。
キム これは波の絵って言われてるように、波の迫力がすごいよね。
ミレ 浮世絵って、ヨーロッパの画家のゴッホとかモネにも影響を与えたっていうから本当にす
ごいよね。
キム そうそう。ジャポニズムね。浮世絵が火付け役になったって言われて るよね。昔から芸術
によって日本と世界がつながっていたんだよね。
ミレ めずらしくまともな事言うわね。
キム めずらしくって何だよ。失礼だな～。

浮世絵 (うきよえ) 에도시대 풍속화.

居間 (いま) 거실, 거처방

お札 (おさつ) 지폐

迫力 (はくりょく) 박력

画家 (がか) 화가

影響 (えいきょう) 영향

与える (あたえる) 주다, 부여하다

火付け役 (ひつけやく) 일, 사건, 소동 등의 계기를 만드는 역할, 또는 사람

芸術 (げいじゅつ) 예술

つながる 이어지다, 연결되다, 관련되다

まとも 1. 건실함, 착실함, まじめ ま ともに生きる。これは、まともな 金だ。 2. 정면 真正面(ましようめん) 逆風をまともに 受ける。ま ともに相手の顔を見る。

といえは ~ (으)로 말하자면, 이라고 하면 酒といえはやっぱりビールが一番だ。

くらい 정도, 만큼, ぐらい(회화체). 정도가 심할때는 ほど.死ぬ {ほど(O)/くらい(X)} 疲れた。

~にくい ~ (하)기 어렵다. あの人は顔が怖いので、話しかけにくい です。

~パッと 1) 확, 순간적으로 ぱっと 電灯がつく。2) 짱, 사방에 かわさがパッと 広まる。

14. 夏祭り

(夏祭り会場に来たミレとハル)

ミレ あ〜間に合った！思ったより時間かかったね。

ハル ママが浴衣着るのが遅かったんでしょ。

ミレ あはは。ごめんごめん。あっ、ハルの好きなお面よ！

ハル わ〜い！いろんなキャラクターのお面がある！どれにしようか 迷っちゃう。

ミレ 買ってでもいいけど、今日のおこづかいは1,000円までよ。

ハル え〜じゃあ、お面買ったなら終わりじゃん。や〜めた！ あっ金魚すくいだ！あれにする。

ミレ いいけど、金魚はすくったら、ちゃんと育てないといけないのよ。責任もてる？

ミレ 夏祭り ん〜…じゃ、あのヨーヨー釣りにする。

ハル わかった。とりあえず何か食べるもの買ってからにしよう！ りんご飴がいい？かき氷もいいわね。

(ヨーヨー釣りをしてから)

ミレ うわ〜ヨーヨー、たくさん釣れたね。こんなに釣ってどうするの。

ハル パパのお土産にするの。

ミレ (花火の音が聞こえる) あっ花火だ！わ〜きれいねえ。

男 た〜まや〜！！

女 か〜ぎや〜！！

ハル ママ、たまや、かぎやってなに。

ミレ 昔、たま屋とかぎ屋という花火師が打ち上げた花火の中で、よかった方の屋号を花火に向かってさけぶ習慣があったの。それが今でも残ってるのよ。

ハル へ〜じゃあ私もやってみる。た〜まや〜！！！！

会場 (かいじょう) (행사, 회의 등이 열리는)장소, 회장

お面 (おめん)가면, 탈

おこづかい 용돈

やめる 그만두다, 끊다, 중지하다

金魚 (きんぎょ) 금붕어

すくう 건져내다, 뜨다, 떠내다

責任 (せきにん) 책임

とりあえず 1. 우선, 먼저 **まず**はじめに **とりあえず**お返事まで。2. 일단 **ともかく**、ひと**まず** **とりあえず**行ってみよう。

ひと**まず** 일단, 우선, 하여튼, 一応 **あやしい**人物がいたので、ひと**まず**その場所から離れました。

りんご飴 (りんごあめ) 사과사탕.

かき`氷 (かきごおり) 빙수

釣れる (つれる) [‘釣る’의 가능형] (물고기가)잡히다, 낚이다

打ち上げる (うちあげる) 쏘아올리다, 쳐올리다

屋号 (やごう) 상호, 상점명

さけぶ 외치다, 부르짖다

習慣 (しゅうかん) 습관

ちゃんと 빈틈없이, 정확히, 착실하게 **きちんと**

~ないといけない ~ (하)지않으면안된다, ~ (해)야한다 映画は**まず**おもしろくないといけない。「~なければならぬ」: 규범, 당위, **早く行かない**とならぬ。(x) **早く行かなければならぬ**。(o)

間に合う (まにあう) (정해진시간, 기한 등을) 지키다, 맞추다

すくったら 견지면

「たら」 1. 조건절+의지. 金魚はすくったら、ちゃんと育てないといけないのよ。

2. 이미 성립된 사실적 조건 = 窓を開けたら、冷たい風が入ってきた。= 「と」開けると

「と」 반복적, 항상적 의존관계. 후행절에 의지. 명령.희망.의뢰 窓を開けると、冷たい風が入ってきた。

「ば」 항상 의존적. 가정조건 **あしたもし雨が {oふれば /xふると }** どうしますか。예외. 조건절.주절 주체가 다른 경우. 分からないことが {oあれば 父が許して {oくれれば /oくれたら /oあったら }、いつでも聞いてください。 } 彼女と結婚するつもりです。

15. おもてなし

(ミレとキムが伊藤先生の家招待される)

幸子 ミレさん、いらっしゃい!(スリッパを出しながら) どうぞ、あがって。

ミレ 先生、奥様、ご無沙汰してます。おじゃまします。
 伊藤 ミレさん、日本語が上手になったね。
 ミレ ありがとうございます。先生のおかげです。あ、うちの主人です。
 キム ミレからよく伺ってました。キムと申します。(手土産を渡しながら) あ、これ、ご家族の皆さんでどうぞ。
 伊藤 手土産なんていいのに。すみませんね。今日はミレさんがくるからって、妻が腕をふるって夕飯を準備したから たくさん食べて行って。

(食卓で)

幸子 お口に合うかどうかわからないけど…どうぞ召し上がって。
 ミレ わぁ、日本の家庭料理が食べられるなんて感激です!
 幸子 (おしぼりを広げて渡しながら) おしぼりどうぞ。
 キム 温かくて気持ちいい! おしぼりをいただくなんて、お店に来たような気分です。
 ミレ こういうところに、日本の「おもてなし」を感じますね。
 幸子 そんな、おおげさよ。私たちは、とにかくミレさんたちが来てくれたことがうれしくて。
 伊藤 今日は実家に帰ったと思って、たくさん食べてゆっくりしてね。
 ミレ はい! それじゃ、お言葉に甘えて…。
 キム,ミレ いただきまーす!

おもてなし [접두사'お'+ 'もてなす'의ます형] 대우, 접대
 招待する (しょうたいする) 초대하다
 奥様 (おくさま) 부인[타인의 아내를 높여 부르는 말로 '奥さん'보다 경의가 높다.]
 ご無沙汰する (ごぶさたする) 격조(隔阻)하다 ['無沙汰'의 공손한 표현]
 おじゃまする 실례하다 ['お+邪魔する(방해하다)'] 타인의 집을 방문할 때 쓰는 겸양어]
 伺う (うかがう) '聞く(듣다)', '訪れる(방문하다)'의 겸양어(謙讓語)
 手土産 (てみやげ) 타인의 집을 방문할 때 가지고 가는 선물
 腕(うで) 솜씨, 팔.
 ふるう 발휘하다, 휘두르다 cf. 腕を振るう 솜씨를 발휘하다
 召し上がる (めしあがる) 드시다, 접수시다. ['食う(먹다)', '飲む(마시다)'의 존경어(尊敬語)]
 おしぼり 물수건
 おおげさ 과장됨, 야단스러움
 実家 (じっか) 부모님댁, 생가, 친정
 お言葉に甘える (おことばにあまえる) 상대의 호의에 따르다
 ~て (命令): ~해 早く起きて。早く起きて。
 なんて 1) 예시(⇒ 명사에 접속): ~같은 것, ~따위 テレビなんて見ないで、手伝いなさい。 2)

놀람, 경시(⇒ 술어에 접속) : ~(이)라니, ~하다니 あんな人が警察だなんて、信じがたい。

手土産なんていいのに 선물이라니 괜찮는데. 뭘 이런걸 다 [手土産+なんて+いい+のに]

口に合う 입맛에 맞다

~ようだ ~(인) 것 같다 <비유> 今日は真夏のような暑さだ。